

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区冬木22-24 リブリ・コスズ2階
施設名	小鳩スマート保育所 冬木

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

水

〈テーマの設定理由〉

子どもが雨・水たまり・シャワー・手洗いなど、水に興味を持って関わる姿が多く見られることから本テーマを設定した。氷遊びや色水遊びなど、五感を使ったさまざまな水遊びを通して、子どもの「触りたい・試したい」という意欲を引き出す。繰り返し遊ぶなかで発見する姿を職員間で共有し、探究心を育む保育をめざす。

2 活動スケジュール

令和7年6月2回、7月3回、8月3回、9月2回

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

氷遊びができるよう、水遊び用玩具や砂場用玩具、ホース、ジョウロなどを用意した。また、食紅を使って色水を凍らせた氷や、植木鉢や水槽などの容器を準備し、氷に触れたり溶けていく様子を感じたりできる環境を整えた。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

氷遊びでは、氷に触れて冷たさや硬さを感じたり、手で握ったり水に入れたりしながら遊ぶ活動を行った。また、氷の中におもちゃを入れて凍らせたものを用意し、取り出して遊べるようにした。氷に繰り返し触れながら、溶けていく様子を見たり感触を味わったりできるような遊びを取り入れた。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

氷遊びの中で、氷に触れて「つめたい」と驚いたり、友だちと顔を見合わせて笑い合ったりする姿が見られた。氷が溶けて水になっていく様子や、氷の中のおもちゃが見えることに気付き、指で触れたり何度も確かめたりしながら楽しんでいた。保育者は子どもの気付きに寄り添いながら言葉を添え、氷の変化を感じられるよう関わった。



真 2枚以上あります。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

振り返りを通して、0～2歳児は言葉だけでなく、感覚や身体を通して周囲のものに関わる姿が多いことに気づいた。氷遊びでは、冷たさや硬さ、溶けていく変化に触れながら、繰り返し確かめるように関わる様子が見られた。このような体験を通して氷の変化に興味をもつ姿が見られたことから、今後も感覚を通じた体験を大切に、環境を整えていきたい。